

9月定例会

平成22年度決算を認定!

9会計総額118億円を支出

9月定例会で町提出の23年度一般会計ほか6特別会計補正予算、総額118億円余となった22年度各会計決算、教育委員の任命同意にかかる人事案件の計18議案が審議され、原案のとおり可決、認定、同意されました。(決算にかかる監査報告は5ページ)

また、請願1件、陳情4件について審議されたほか、議員発議により3意見書、1決議が提出され、原案どおり可決されました。

子ども園設計費等を補正

平成23年第3回定例会を9月7日から16日まで、10日間の会期で開催しました。本会議初日と2日目は、平成22年度一般会計決算を含む議案18件について、町長から提案理由の説明がありました。主要な質疑の後、各委員会へ付託を行いました。平成22年度決算は、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行うこととしました。

9月8日、9日に行われた一般質問は、4名の議員が登壇し、震災関連の防災体制や放射性物質に対する対応をはじめ、幼保一元化問題、次期介護保険計画などについて活発な質疑が展開されました。

10日から15日まで、各常任委員会や特別委員会を開催し、付託された議案や請願、陳情について、具体的・専門的に審査を行いました。

特に、14日に行われた決算審査特別委員会では、平成22年度決算について詳細な質疑がありました。委員からは、町の財政状況の確認や今後の町の見通しなどの質問が多く、長引く景気低迷による厳しい財政運営の中で、長期的な対応が求められました。予算執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、税金などの収入・支出が適切に行われたかどうかを確認しました。

老朽化の公民館等を撤去

16日最終日は、休会中に開催された各委員会の委員長報告、討論、採決を行いました。町提出の1億3千万円余の増額補正となった23年度一般会計補正予算案は、町内の幼稚園と保育所を一つにまとめ一体化する(仮称)多古こども園(多古台)の設計に2640万円(2年継続4914万円)、老朽化した町公民館、教員住宅等を解体撤去する工事費に2730万円などのほか、他の特別会計と同様に4月の人事異動に伴う人件費の調整が主なものでした。平成23年度一般会計補正予算ほか17議案は、すべて原案どおり可決、認定されました。

教育委員に柴田洋氏

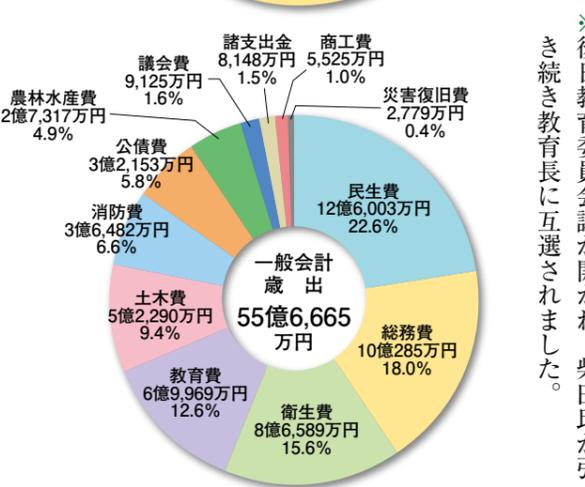
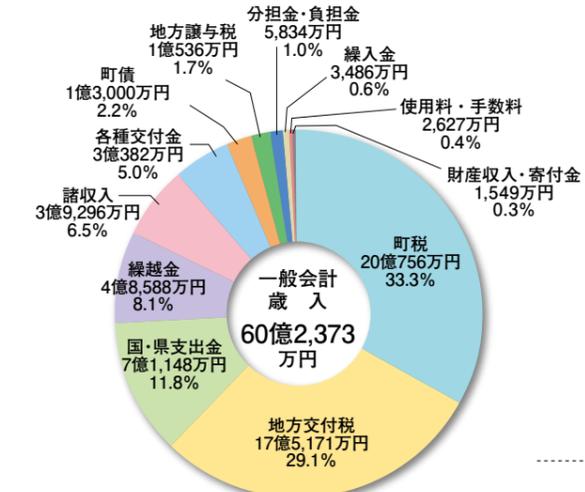


また、教育委員会委員の任期満了に伴う任命について柴田洋氏(南中4期)とすることに同意しました。

その他、請願1件、陳情4件について審議し、これにかかる意見書提出を求め議員発議案3件が提出され、可決されました。意見書は議長名で関係機関へ提出しました。また、議員発議により「圏央道の早期着工等に関する決議」が提出され、全会一致で議決されました。(7ページに連続記事)

※後日教育委員会が開かれ、柴田氏が引き続き教育長に互選されました。

平成22年度一般会計歳入歳出の構成



平成22年度各会計決算

【歳入歳出決算額及び採決の状況】

種別	決算額		採決の状況
	収入	支出	
一般会計	60億2,373万円	55億6,665万円	認定【賛成11,反対2】
特別会計	学校給食センター事業	1億8,967万円 / 1億8,636万円	認定【賛成11,反対2】
	国民健康保険事業	21億517万円 / 20億1,104万円	認定【賛成11,反対2】
	老人保健 (平成22年度で廃止)	252万円 / 252万円	認定【賛成全員】
	農業集落排水事業	1億3,194万円 / 1億2,528万円	認定【賛成全員】
	介護保険事業	11億669万円 / 10億6,481万円	認定【賛成11,反対2】
	後期高齢者医療	1億3,192万円 / 1億3,166万円	認定【賛成11,反対2】
国保多古中央病院事業会計	収益	18億7,268万円 / 17億7,779万円	認定【賛成全員】
	資本	1億7,767万円 / 2億4,502万円	
水道事業会計	収益	2億9,828万円 / 3億1,896万円	認定【賛成全員】
	資本	2億6,172万円 / 3億8,632万円	

(収益の収入・支出は税抜き)

(千円以下は切り捨てて表示しています)



◀風船の割れる音に声をあげる子どもたち(北保育所運動会)